

### 新井宿自治会連合会総会の開催

5月29日に新井宿特別出張所において、新井宿自治会連合会が開催されました。総会後に開かれた懇親会では、自治会・町会役員永年在職者に対して、西野大田区長から、退任副会長に対して岩井連合会長から、感謝状が贈呈されました。

〈退任副会長〉 竹内 眞治	和田 久美子	永峰 幸子
〈役員永年在職者〉	齋藤 智賀子	石塚 みき
笹本 みつ子 福田 和子	田中 京子	諸橋 幸男
臼田 昭治 中村 則昭	立石 恒卓	保科 圭里
臼田 年克 鈴木 利夫	寺内 宣親	石栗 正代
矢野馬 直子 山口 忠志		(敬称略)



江戸時代から歌い継がれる  
海苔の歴史♪～大森甚句



種まき



ドリーム  
キャッチャー



ハーモニカ練習の成果おひろめ!

## 種まき祭

3月21日、大田文化の森で  
運営協議会主催の  
楽しいお祭がありました。

体験したよ  
救命訓練



海苔すき体験



のり巻き作ってね



未来の消防官?



焼とりだよ～

### 編集後記

馬込幹線下水道工事の完成間近という事で「百聞一見」見学をして参りました。

文化の森前、池上通り交差点の地下、コンクリートで固められた巨大空間、ここで日夜工事が行われているわけです。

最先端の技術で推し進められ

ているとはいえ、関係者方々の御苦労は大変なものでしょう。地下水管の中に立ちますと、その管の大きさが感じられ、「酸欠危険につき立入禁止」の吊り札が、地下であることの緊張感を一層深くしました。  
(湯浅編集委員)

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会  
編集 「わがまち新井宿」編集委員会  
山王三丁目東自治会 中央四丁目町会  
山王三・四丁目自治会 新井宿五丁目町会  
山王三丁目町会 新井宿六丁目町会  
中央一丁目町会 旧新井宿七丁目町会  
……共同編集……  
監修 新井宿地区自治会連合会  
事務局 大田区新井宿特別出張所  
大田区中央4-31-14  
3776-5391

# わがまち Araijuku 新井宿



入四小5年 石川 あゆみさんの版画

## 文化の森 運営協議会会長の交代

町が桜の季節をむかえる少し前、大田文化の森で、春の“種まき祭”が行なわれました。時を前後して、運営協議会会長が交代されました。勇退されました野村前会長(写真右)と、後任の鈴木新会長(写真左)に、胸の内をそっとお聞かせいただきました。



会長の後任をお受けして

鈴木 康紀

わがまち新井宿ご愛読の皆様、そして編集委員の皆様、常日頃より地域の親睦、発展、防災事業にお力添えを戴き、感謝申し上げます。

さて、この度、大田文化の森運営協議会会長の野村さんが勇退され、委員の皆さんの互選により、その後任のお役をお引き受けすることになりました。私の分に余る大役とは存じますが、区本庁舎移転後の地域の活性と、この施設が区民皆様の使いやすい文化の発信基地として、大きな森に育ちますよう、皆様との連携を密にご奉仕したいと思います。今後も、前会長に倍しましてご支援頂きますようよろしくお願い致します。

新会長は鈴木康紀さん

野村 銀市

元区役所跡地に平成13年11月オープンした文化の森は、新井宿地域の皆さんの温かいお力添えによって、着実に区民の文化活動の花を咲かせてきましたことは、喜びに堪えません。

この文化の森は、大田区の方針で、公募による8人の委員を含む15人の区民からなる運営協議会が、行政と協働して、文化活動の自主的な企画運営してきました。私は、委員の互選により会長をお引受けしてきましたが、このたび、私自身の仕事が忙しく、また人事の一新を願って、会長を辞めさせて頂き、後任には、全委員の互選により、副会長であった鈴木康紀さんが新会長に就任されました。

鈴木さんは今日まで長い間地域のために尽くしてこられた温厚篤実な実行力のある方で、今後の文化の森の一そうの発展が期待されます。引き続き皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成7年3月から工事が始まった表記の幹線は、来年度の供用開始に向けて、現在工事が進んでおります。平成7年8月発行の本紙第6号にて、工事のスタートを報じると共に、工事の発端になった集中豪雨による、いわゆる『都市型水害』の恐ろしさをお伝えしました。

馬込幹線は、東京都が浸水対策として計画した、重点整備30地区の一つの『馬込・中央地区』対応の下水道です。

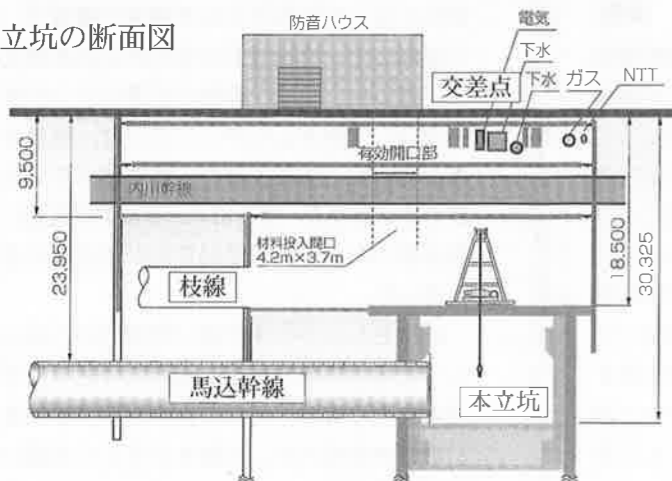
平成11年8月、本誌19号にて工事の続報として、現在の大田文化の森前の池上通りの真下に、床面積1300平方メートル、深さ18.5メートルの巨大な空間ができており、更に直径15メートル、深さ61メートルの本立坑壁の築造工事が進められていることをお伝えしました。

今年2月、新宿宿児童公園（日赤前、新宿特別出張所隣接）で新たな工事が始まりました。この工事は馬込幹線下水道の関連工事であるとのことで、この機会に再度『馬込幹線工事』の現況をお伝え致します。

本立坑からみた工事中の馬込幹線



発進立坑の断面図



本立坑は、池上通りと臼田坂通りの、交差点真下にあります。

都市型水害からまちを守る

# 馬込幹線 完成間近



『酸欠危険につき立入禁止』にご注目

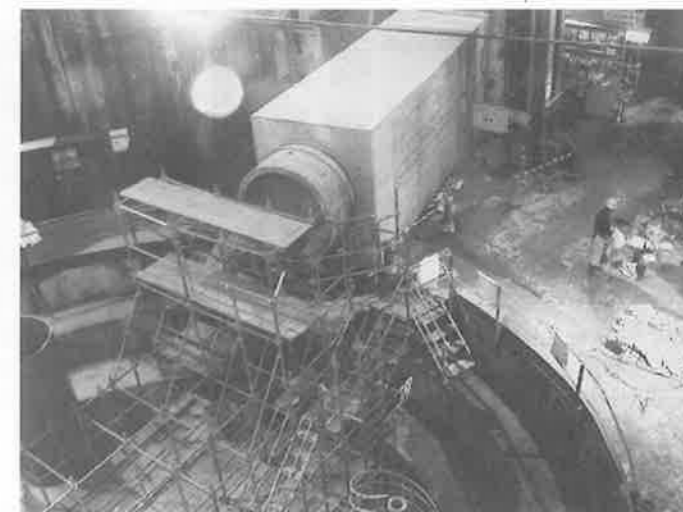


去る4月、特別出張所職員と編集委員全員が、東京都下水道局職員ならびに現場責任者の方達から、工事の全体と現況説明を受け、工事現場の見学を行いました。

ヘルメットで身を固め、緊張した思いで地下現場へ入りました。想像し難い巨大な地下空間と、頑丈な数多くの鉄骨で補強された立坑の様子が最初の驚きでした。工事前仮設階段を下って地下24メートルの下水管に達するまでの階段は狭く、急で、しかも、補強鉄骨の間を右に左に向きを変えながらの行動は緊張の連続でした。コンクリート製の下水管の中に入り、内径4.5メートルの大きさを実感しました。所々、電灯が点された下水管は、目の届く奥まで続いております。この発進立坑から、到達立坑がある南馬込うえだ公園に至る1300メートルの下水管布設工事は既に終わっています。現在は、発進立坑の中に暫定排水ポンプを設置する工事を進めています。

到達立坑付近は急なカーブになっているので、この地域の掘削のために、特別に開発された特殊なシールドマシンを使っての揺動式シールド工法が施行されたことなど、この工事が極めて高度な最先端技術によって建設されたことを伺い知ることができます。また、耐震性ももとより、漏水防止、腐食防止などの配慮も充分で、環境上も、将来的にも安心がもてる施設とのことです。

既設の馬込西幹線からの枝線



なお、新宿宿児童公園での工事は、既設の馬込西幹線の下水の一部を馬込幹線に流入させる工事で、来年6月末には元の公園に復旧させたいと、工事を終る予定です。馬込幹線上流部分の完成により、広い地域の浸水被害の軽減が期待されます。